## 目 次

第1章 テキストの概要 ..... 1
1－1 テキストの目的 ..... 1
1－2 このテキストで作成する課題 ..... 1
第2章 フォントサイズを自由に指定する ..... 2
2－1 フォントサイズを自由に指定する ..... 4
第3章 フォントについて ..... 9
3－1 フォントの文字幅 ..... 10
$3-2$ 和文フォントと欧文フォント ..... 15
3－3 フォントの選び方 ..... 19
第4章 図形の操作を復習する ..... 21
第5章 画像を挿入する【予習】 ..... 30
5－1 画像の挿入 ..... 33
5－2 画像の大きさを変更する ..... 36
5－3 画像に［文字列の折り返し］を設定する ..... 38
5－4 画像の移動 ..... 40
5－5 ワードアートを縦書きにする ..... 42
第6章 複雑な表を作成する【予習】 ..... 46
6－1 表全体の大きさを変更する ..... 49
6－2 表全体を選択する ..... 51
$6-3$ 表全体の配置を変更する ..... 52
6－4 連続したセルを複数選択する ..... 53
$6-5$ セルの塗りつぶし ..... 54
6－6 セル内の文字列の配置変更 ..... 56
6－7 赫線を引く（鉛筆） ..... 58
6－8 マウスポインタの形を元に戻す ..... 60
6－9 堽線を引く（ボタン） ..... 61
第7章 テキストボックスとグループ化【予習】 ..... 65
7－1 文字を自由な場所に配置する（テキストボックス） ..... 69
7－2 複数の図形を選択する（SHIFT キーで 1 つずつ選択） ..... 72
$7-3$ 複数の図形を選択する（ドラッグでまとめて選択） ..... 74
7－4 図形のグループ化 ..... 76
$7-5$ 図形をコピーする（ドラッグ） ..... 78
テキストの作成環境
O S ..... Windows10
ソフト．．．．．．．Microsoft Word 2019 （Office365）及び 2016 及び 2013画面解像度… $1024 \times 768$ または $1280 \times 1024$
※画像内の段落記号（ + ）のサイズは，2013 のものも混在します。

## 第1章 テキストの概要

## 1－1 テキストの目的

本書の各章の目的は，次のとおりです。

2～4章 前回のテキスト「ワード2019\＆2016\＆2013初級」で学んだ知識を，より定着させるための復習的な役割

5章～テキスト「ワード2019\＆2016\＆2013 中級」を学ぶ前 の予習的な役割

がんばっていきましょう！

## 1－2 このテキストで作成する課題



## 第2章 フォントサイズを自由に指定する

本章では，フォントサイズの数値を自由に変更する方法と，その活用法を学びます。
【完成例】


次ページから，手順に沿って文書を作成しましょう。

## 第3章 フォントについて

本章では，フォントについての知識を学びます。より見やすい文書を作成してみ ましょう。

【完成例】


前半は知識の説明になります。課題は，章の後半から作成していきます。

## 3－1 フォントの文字幅

本項は，フォントの文字幅の知識について学びます。（操作は行いません）
これらの内容をすべて覚える必要はありませんが，知っておくと読みやすい文章 が作成できます。イメージをつかむ程度で読み進めましょう。

## 1 等幅フォントとプロポーショナルフォント

フォントには［MS 明朝］と［MSP 明朝］のように「P」が付くものと付かな いものがあります。


「MS 明朝」と
「MS ゴシック」は それぞれ「P」があるも のと，無いものがある。

「P」があるフォントは「プロポーショナルフォント」といい，文字間隔が自動的に調整されます。特に促音や英数字などが自然な体裁になります。

「P」のないフォントは「等幅フォント」といい，文字が等間隔になります。

それぞれの違いを下図に示します。


これらは一概にどちらが良いというものではなく，状況に応じて使い分けます。

例えば，複数行の文字列の頭を揃えたい場合は，等幅フォントを使います。

| 活動日時 | 毎週水曜日午前。 |
| :--- | :--- |
| 活動場所 $\square$ | 松風公民館2階学習室 |
| 会 $\square \square$ 費 $\square$ | 2,000 円 $/$ 月。 |

## 等幅フォントにしている ので位置が揃っている

他にも，メールアドレスなど，誤読されないように1文字ずつをはっきりさせ たい場合にも等幅フォントを使うと効果的です。

```
pc_iikanji@abc.ne.jp.(MS ゴシック)
pc_iikanji@abc.ne.jp (MSP ゴシック)
```

上図では，等幅フォント（MS ゴシック）の方が，見やすいのがわかります。

また，下図のように長文の場合は，プロポーショナルフォントを使うと読みやす くなります。

```
Windows (ウインドウズ) とはマイクロソフト社の OS
のシリーズ名です。Microsoft Office(マイクロソフ
ト オフィス)は, マイクロソフト社のビジネス用の
アプリケーションソフト群です。
Windows(ウインドウズ)とはマイクロソフト社の OS のシリ
ーズ名です。Microsoft Office(マイクロソフト オフィス)
は, マイクロソフト社のビジネス用のアプリケーションソフト
群です。
```

等幅フォント（MS ゴシック）の方がやや間延びしているのに対して，プロポー ショナルフォント（MSPゴシック）は自然に間が詰まっています。

上記の違いを普段から意識しておくと，より見やすい文書が作成できるでしょう。

## 2 等幅とプロポーショナルのデザインが混在しているフォント

フォントによっては名前の中に「P」の他に「S」がついているものがあります。

［HG 創英角ゴシック UB］と ［HG 創英角ポップ体］は，「P」または「S」が有るものと，無いものの，合わせて 3 種類が ある。

「S」のついているフォントは，和文が等幅フォントで，欧文がプロポーショナ ルフォントになります。（「欧文」とは半角の英数字や記号のことです。）
それぞれの違いを下図に示します。※下図の「3，000」は全て半角文字です。

ティーカップの代金 3， 000 円を支払った。（HG 創英角ゴシックUB）。
ティーカップの代金 3，000 円を支払った。（HGS 創英角ゴシック UB）。
ティーカップの代金 3，000 円を支払った。（HGP 創英角ゴシック UB）。

## 第4章 図形の操作を復習する

この章では初級で学んだ図形の操作の復習を行います。
【完成例】

## 日本全国とこでも配達！雪だるまお届 $1 十$ 便

今年も白松村の雪をおすそわけ！良質のパ ウダースノーをぎっしりと詰め込みます！大切な人に素敵な雪の贈り物はいかが？

- 雪だるま（大）3，000 円
- 雪だるま（小）1，800 円
［送料］

| 関東 | 1.000 H |
| :--- | :--- |
| 中部 | 1.100 H |
| 関西 | 1.200 H |
| 中国•四国 | 1.300 H |
| 九忡 | 1.400 H |
| 沖縄 | 1.500 H |

> 次ページから, 手順に沿って文書を作成しましょう。
（10）下図のとおりに，図形を挿入しましょう。
－挿入する図形
［二等辺三角形］
－図形の塗りつぶし…［白，背景1，黒＋基本色25\％］
（［図形の書式］（2013は［書式］タブ）
－図形の枠線………［枠線なし］（2013は［線なし］）

## 天（I）1，800円

100 m
00 円
100 円
100 円
10 m
（11）下図のとおりに，図形を挿入しましょう。

- 挿入する図形
- 位置
- 図形の塗りつぶし…［白，背景1，黒＋基本色25\％］
（［図形の書式］（2013は［書式］タブ）
－図形の枠線


## 天（小）1，800円

## 100 円 <br> 00 円 <br> 100 円 <br> 100 円

nn m

## ここまで理解できたか課題で確認してみましょう！

課題はワード初級プラス 3－（1）～（2）です。

## 第5章 画像を挿入する【予習】

ここからはテキスト「ワード中級」の予習となります。
本章では，自分で用意した画像を，文書に挿入する手順を学びます。
【完成例】


次ページから，手順に沿って文書を作成しましょう。

## 第6章 複雑な表を作成する【予習】

本章では，初級で学んだ表作成をさらに詳しく学びます。

## 【完成例】



松風将棋爱好会

次ページから，手順に沿って文書を作成しましょう。

## －文書作成の準備をする

① ワードを起動しましょう。
（2）次の指示に従って，ページ設定を変更しましょう。

- 余白………上下左右［15 mm］
- 印刷の向き…［横］

③） 1 行目から，下図のとおりに文字と表を入力しましょう。

| $\downarrow$ | 吉田 | 中村 | 岬 | 小川 | 高木 | 勝敗 | 順位 |
| :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: |
| 吉田 | $\stackrel{ }{+}$ | $\downarrow$ | $\stackrel{ }{+}$ | $+$ | $\stackrel{ }{+}$ | $\stackrel{ }{+}$ | $+$ |
| 中村 | $+$ | $\stackrel{ }{ }$ | $\stackrel{ }{+}$ | $+$ | $\downarrow$ | $+$ | $\stackrel{ }{+}$ |
| 岬 | $+$ | $\stackrel{ }{ }$ | $\stackrel{ }{ }$ | $+$ | $+$ | $+$ | $\downarrow$ |
| 小川 | $+$ | $\stackrel{ }{ }$ | $\stackrel{ }{+}$ | $+$ | $\stackrel{ }{+}$ | $\downarrow$ | $\downarrow$ |
| 高木 | ${ }^{\prime}$ | $+$ | $\checkmark$ | $+$ | 4 | $\stackrel{ }{+}$ | $\stackrel{ }{+}$ |

松風将棋愛好会
（4）表示倍率を［ページ幅を基準に］に設定しましょう。

（5）そのまま選択した

い図形を囲むよう に，右下方向に ドラッグします。例：左図参照

（6）図形をまとめて選択できました。

## 【参考】「［Shift］キー」と「ドラッグ」での選択の使い分け

図形を複数選択する方法として，「Shift キーで1つずつ選択」（P．72）と「ドラッグでまとめて選択」（P．74）の 2 つの手順を学びました。

図形が少ない場合は，［Shift］キーの方法を使うと手間が少なくなります。地図などのように，図形の数が多い場合は，「Shift キーで1 つずつ選択」する より，「ドラッグでまとめて選択」する方法を使うとよいでしょう。

## 7－4図形のグループ化

「グループ化」とは，複数の図形を1 つの図形として扱えるようにする操作です。 グループ化することで移動やコピーなどの操作がしやすくなります。
前項までに選択した3つの図形をグルーブ化してみましょう。

（1）グループ化したい図形をまとめて選択しておきます。


## やさしく楽しく学ぶ ワード初級プラス

発行日 2018年11月 4日 第1版
改訂日 2018年12月13日 第2版
改訂日 2019年 7月14日 第3版
改訂日 2020年 6月 8日 第4版
改訂日 2021年 9月 7日 第5版
改訂日 2022年 8月30日 第6版
編 著 ハッピーテキスト
発行所 ハッピーテキスト
〒492－8253
愛知県稲沢市奥田神ノ木町 21 番地
https：／／www．happy－pctext．com／
印刷所 有限会社 テスコ

